

令和4年度 すくすくウォッチ 算数解答例 (★★★の例)

問題番号		★★★の例
1	(1)	1, 3
	(2)	(午前) 8 (時) 50 (分)
	(3)	1.5 (倍)
	(4)	平行四辺形は向かい合う辺の長さが等しいので、点 C から点 D までの長さは 400m になる。だから、点 A から点 B, C を通って点 D まで走る長さは $400+800+400=1600$ となる。高学年は 1800m 走るの、ゴールは点 D と点 A の間になる。
2	(1)	16 (個)
	(2)	$\bigcirc + \square = 6$
	(3)	<p>【縦に置くブロックの数】 3 (個)</p> <p>【横に置くブロックの数】 3 (個)</p> <p>【わけ】 ブロックを縦に 1 個置いた場合 <math>30 \times 150 = 4500</math></p> <p>2 個置いた場合 <math>60 \times 120 = 7200</math></p> <p>3 個置いた場合 <math>90 \times 90 = 8100</math></p> <p>4 個置いた場合 <math>120 \times 60 = 7200</math></p> <p>5 個置いた場合 <math>150 \times 30 = 4500</math> となるので、縦に 3 個、横に 3 個置いたときに面積が一番広がる。</p>